

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 4 月 20 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	ナラサキスタックス株式会社
所 在 地	〒053-8522 北海道苫小牧市晴海町 43 番地 1
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 長江 一男
担 当 者 連 絡 先	電 話：0144-30-9174
	メー ル：k.shinohara@narasaki-stax.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.narasaki-stax.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

昭和 59 年、檜崎総合運輸（株）としてスタートし、北海道を拠点に港湾運送事業や海運代理店業を展開、貨物の船揚げから倉庫保管、更にトラックでの配送など顧客のニーズに応えています。平成 3 年に檜崎産業（株）の運航部門を統合して、ナラサキスタックス株式会社に社名を改め、セメント専用船やケミカル船を有し、全国規模で海上輸送を行っております。また、認定通関業者として、海陸空を通じて通関業務を行っております。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	安全絶対最優先の基本理念のもと、安全で安心な職場環境の整備を図り、労働災害防止活動を積極的に推進する。	・ 重大労働災害の発生ゼロを継続する ・ 健康経営優良法人の認定を継続する
□環境 ✓社会 ✓経済	労働者不足対策として、女性活躍推進法や高齢者の就労促進、更に障害者雇用の促進を図る。	・ 新規採用の女性社員の比率を 30%以上を目指す。 ・ 障害者の雇用を 4 名以上を目指す。
✓環境 □社会 □経済	二酸化炭素の排出量の削減として、環境負荷の少ない施設・設備への更新を図る。	・ 業務用車両の EV・HV・PHEV 化（目標 10%） ・ グリーン経営認証の継続する ・ 内航船省エネルギー格付けの継続する ・ 倉庫の照明の LED 化を目指す

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	環境省の定める”フロン排出抑制法”に沿って、荷役機械などの点検を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	グリーン経営認証（トラック運送事業）を取得。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページにて環境への取り組みに関する情報を掲載している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	現在、再生エネルギーである太陽光発電利用の可能性について、検討を実施している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	◇再生タイヤの利用促進。（コンテナシャーシー） ◇FSC認証を受けたコピー用紙の利用促進。 ◇オフィス家具などのリサイクル品の利用促進。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	◇毎月、安全衛生品質管理委員会・パトロールを開催し、お預かりした製品の品質管理に努めている。◇安全性優良事業所（Gマーク）の認定を受け、お客様に安全・安心・信頼のトラック輸送を提供している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AE0認定通関業者の認定を取得（2016年5月）国際貿易におけるコンプライアンス/セキュリティ確保と効率化の双方を実現。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	◇苫小牧-横浜間で内航コンテナ輸送を運航しトラック輸送から海上輸送への提案実施。◇内航船2隻が内航船省エネルギー格付けを取得。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	物流業界で長年の課題となっている結露対策として、北海道産珪藻土を活用し石油を使わない「エコ調湿資材」を研究し商品化にする。2025年12月実用新案登録完了。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	◇地元自治体が主催する港まつりへの参加。◇所属する団体が行う交通安全運動への積極的参加。◇自社アイスホッケー部による子供向けアイスホッケー教室を行っている。◇市のネーミングライツに参加				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	物流業界で長年の課題となっている結露対策として、北海道産珪藻土を活用し石油を使わない「エコ調湿資材」を研究し商品化にする。2025年12月実用新案登録完了。								8	9		11	12	13				

